

法学部A方式Ⅱ日程・国際文化学部A方式
キャリアデザイン学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～20	日 本 史	22～38
世 界 史	40～53	地 理	54～63
数 学	64～69		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。
一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

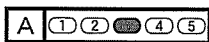
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

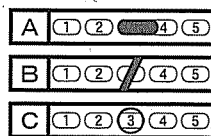
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(数 学)

[I] $f(x) = x^2 - (t + 3)x + at - b + 2$ とおく。ただし、 a, b, t は実数の定数とする。

- (1) $a = 2, b = -1$ のとき、方程式 $f(x) = 0$ が実数解をもつような t の値の範囲を求めよ。
- (2) 任意の実数 t に対して方程式 $f(x) = 0$ が実数解をもつような、点 (a, b) の存在範囲を ab 平面上に図示せよ。

(計 算 用 紙)

数学

〔Ⅱ〕 赤球 2 個, 白球 3 個, 黒球 3 個の全部で 8 個の球が入っている袋がある。この袋から球を 1 個ずつ 8 回取り出す。ただし, 取り出した球はもとに戻さない。このとき, 次の確率を求めよ。

- (1) 赤球がどこかで 2 回続けて出る。
- (2) 白球が 2 回以上続けて出ることがない。

(計 算 用 紙)

数学

〔Ⅲ〕 定義域 $0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ において、関数 $f(\theta)$ を $f(\theta) = \sin \theta + t \cos \theta$ で定める。

ただし、 t は実数の定数とする。

(1) $t = \frac{\sqrt{3}}{3}$ のとき、 $f(\theta)$ の最大値と最小値を求めよ。また、それらを与える

θ の値をそれぞれ求めよ。

(2) $f(\theta)$ の最大値が 5 となるような、 t の値を求めよ。また、そのとき、

$f(\theta_0) = 5$ を満たす θ_0 に対して $\sin \theta_0$ の値を求めよ。

(計 算 用 紙)